

令和元年度 部長政策宣言

達成状況報告

企 画 管 理 部 長
財 務 管 理 部 長
市 民 生 活 部 長
福 祉 保 健 部 長
産 業 経 済 部 長
都 市 整 備 部 長
上 下 水 道 部 長
市 民 病 院 事 務 局 長
会 計 管 理 者
教 育 委 員 会 事 務 局 長
消 防 長

令和元年度 企画管理部長「政策宣言」達成状況

企画管理部長 島木康太

○ 令和元年度重要事業

事業名	総合計画後期実施計画の見直し及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の改定
目標	総合計画中長期実施計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略の検証を踏まえ、総合計画後期実施計画の見直し及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の改定に取り組みます。
年度末達成状況	総合計画後期実施計画の見直しについては、事業の必要性、有効性、緊急性等について検証し、限られた財源を有効に活用するため厳しい事業選択を行いました。また、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略については、国が示した新たな視点を取り入れながら具体的な施策を56事業追加しました。引き続き、人口減少の克服と地域活性化に努めます。
自己評価	後期実施計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略のいずれも各部局と連携を図りながら作業を進めるとともに、限られた財源の中にも関わらず新たな視点を取り入れ、将来のまちづくりに必要な要素を盛り込みました。引き続き、各施策の検証を行うなど、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら時点修正等を行っていきます。

事業名	行財政改革の推進
目標	公共施設等の再編への理解を一層深めていただくため、地域での説明会等を開催するとともに、第4次行財政改革大綱及び集中改革プランの策定に向けた作業に取り組むなど、着実に行財政改革を進めます。
年度末達成状況	公共施設マネジメントの推進については、各地域において公共施設再編方針の説明及び意見交換会を開催し、市民との課題の共有に努めました。また、昨年9月に策定した第4次行財政改革大綱を踏まえ、さらに行財政改革推進会議の審議を経て、具体的な取組を示す集中改革プランを12月に策定しました。
自己評価	行革は一過性のものではなく継続して取り組むことで一層の効果が生まれるものと考えており、将来を見据えた経営基盤の確立と自立した都市の実現に向け、引き続き行財政改革を着実に推進してまいります。

事業名	庁舎跡地利活用事業の推進
目標	旧新湊庁舎跡地に整備する複合交流施設については、地域の賑わい創出及び活性化に資する拠点施設となるよう、関係団体等と協議を行い、令和2年度早期の完成を目指します。

年 度 末 達 成 状 況	現在、射水商工会議所、射水ケーブルネットワーク（株）及び市職員等で構成する新湊地区まちづくり協議会において複合交流施設の賑わい創出やバスの運行、観光客の利便性の向上やオープニングイベントなど、事業目的ごとに6つの専門部会で協議を行っています。今年の2月にはこの施設の名称が「クロスベイ新湊」と決まるなど建設工事に合わせて具体的な事業を協議し、8月頃のオープンを目指しています。
自 己 評 價	クロスベイ新湊は、新湊地区を含めたベイエリアの賑わいや観光拠点の役割に加え、射水市のシンボルとなる施設とするため、様々なアイデアを盛り込みながら準備を進めました。引き続き、隣接地へのホテルの誘致に取り組んでいきます。

令和元年度 財務管理部長「政策宣言」達成状況

財務管理部長 一 松 教 進

○ 令和元年度重要事業

事 業 名	健全で持続可能な財政運営
目 標	限られた財源の中、将来を見据え、まちとひとが一層輝く射水の創生につながる施策を推進するため、第2次総合計画後期実施計画の見直しに伴う中長期財政計画の改定や計画的な市債の繰上償還、基金への積み立てなど、引き続き安定した行財政運営に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	今年度見直した第2次総合計画後期実施計画の着実な推進のため、財政面から裏付ける新たな財政見通しを示しました。また、将来を見据えた財政運営のため、令和元年度中の予算では市債の繰上償還や基金への積み立てを行うとともに、令和2年度予算では、事業の厳格な優先順位付けなどに取り組み、公共施設建設等基金を活用しない予算編成としました。
自 己 評 価	今後も厳しい財政状況となる見通しであることから、引き続き、市民の皆さんのご理解とご協力を得ながら、効率的・効果的に持続可能な財政運営としていくため、行財政改革の取組を着実に推進し、健全な財政運営の堅持に努めます。

事 業 名	防災・減災対策の推進
目 標	日ごろから災害に備えるため、指定避難所の再点検を行うとともに、出前講座や防災講演会を通じ、市民への周知啓発に努め、防災・減災意識の高揚を図ります。 また、自主防災組織のリーダーの養成や活動支援に努めるとともに、市職員の初動対応訓練を実施するなど、応急対策の強化を図ります。
年 度 末 達 成 状 況	出前講座や防災講演会を通じ、市民への防災意識の向上に努めました。 また、自主防災組織のリーダー研修会の実施や市職員の災害対応能力の向上を目的として停電時を想定した発電機、携帯無線機の取扱訓練、照明の設置訓練等を実施し避難所開設に係る初動対応について確認しました。
自 己 評 価	各種の取組を通じ、災害発生時の初動体制の確立・習熟に努めました。 引き続き、災害に強いまちづくりに向け防災・減災対策の推進に努めます。

事 業 名	安定した税財源の確保
目 標	公平公正な賦課徴収を実施するとともに、多様な納付環境の整備と滞納整理の強化により徴収率の向上を図ります。 多様な納付環境の整備では、コンビニ納付、クレジットカード納付及びスマホ決済の拡充により、納税者の利便性向上に努めます。

年 度 末 達 成 状 況	公平公正な賦課徴収の実施と年間1,000件の滞納処分により、徴収率の向上と税財源の確保を図りました。 また、多様な納付環境の整備では、電子マネーによるスマート決済の拡充により、納税者の利便性向上に努めました。
自 己 評 価	市税の多様な納付環境を整備し、利便性の向上を図ったことで、高い収納率を維持しています。 また、新たにスマート決済導入に向けた取組を進めるなど、利便性のさらなる向上を図ります。今後とも、公正かつ適切な賦課・徴収、収納管理に努めています。

令和元年度 市民生活部長「政策宣言」達成状況

市民生活部長 島 崎 真 治

○ 令和元年度重要事業

事 業 名	地域公共交通計画の見直し
目 標	持続可能な地域公共交通となるよう、地域の特性等に応じた、効率的かつ効果的なコミュニティバス運行のあり方など、市の交通施策の指針となる計画を策定します。
年 度 末 達 成 状 況	学識経験者等で組織する協議会や、パブリックコメント等の意見を踏まえ、市の交通施策の指針となる「射水市地域公共交通網形成計画」を作成しました。
自 己 評 価	当初目標のとおり、市の交通施策の指針となる計画を策定することができました。今後は、この計画に掲げた目標を達成するため、各種施策を実施していきます。

事 業 名	協働のまちづくり事業の推進
目 標	市民の方にまちづくりへの理解や関心を深めてもらうため、引き続き「射水まちづくりプラットフォーム」を実施することに加え、まちづくりに興味を持つ市民のスキルアップやネットワーク形成につなげる「まちづくりオープンセミナー(仮称)」を新たに実施し、協働のまちづくりの担い手育成に取り組みます。
年 度 末 達 成 状 況	市内の人材及び人的ネットワークを活用するため、射水まちづくり大学同窓会に委託し、「射水まちづくりプラットフォーム」に加え、新たに「射水まちづくりセミナー」を各3回実施し、協働のまちづくりの担い手となる人材育成に取り組みました。
自 己 評 価	事業を外部委託し、新たに「射水まちづくりセミナー」を開催するなど、地域資源や人材を活用することにより、多面的で充実した事業内容となり、目標は概ね達成できました。 今後も、協働のまちづくりの基盤を強化するため、新たな担い手育成に取り組みます。

事 業 名	衛生施設（衛生センター・野手埋立処分所）の整備方針の策定
目 標	衛生センター（し尿処理施設）は、下水道の普及により、施設規模の縮小等が必要であることや、野手埋立処分所についても、令和10年度（2028年度）に埋立てが完了する予定であることから、両施設について、今後の整備方針を定めます。
年 度 末 達 成 状 況	衛生センターについては、適正な処理量を想定し整備手法の比較検討を行うとともに、野手埋立処分所では、新設または増設した場合のランニングコスト等の比較検討を行いました。
自 己 評 価	当初目標のとおり、衛生センター、野手埋立処分所の整備方針を概ね定めることができました。引き続き、両施設の整備計画等の策定に努めています。

令和元年度 福祉保健部長「政策宣言」達成状況

福祉保健部長 板 山 浩 一

○ 令和元年度重要事業

事 業 名	子育て支援の推進
目 標	幼児期の教育・保育サービス等の供給量の見込み及び確保の方策等を示す第2期子ども・子育て支援事業計画を策定します。 妊産婦が安心して育児に臨めるよう、母子保健推進員が訪問し相談支援を行う「産前・産後サポート事業」を新たに実施します。
年 度 末 達 成 状 況	「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定するとともに、産前・産後サポート事業として、母子保健推進員による初産婦、生後6～7か月児への家庭訪問など、出産・育児の相談支援を行いました。
自 己 評 価	「第2期子ども・子育て支援事業計画」に掲げる取組を推進するとともに、引き続き、母子保健推進員と連携を図りながら、妊娠から子育て期の切れ目のない支援体制の強化に取り組みます。

事 業 名	健康寿命の延伸
目 標	生活習慣病の発症及び重症化予防など、健康増進の総合的な推進を図る「第2次健康増進プラン」を策定し、市民の健康寿命延伸を目指します。 国民健康保険事業において、特定健診の受診率向上を図るとともに、新たにタブレット端末等を活用した保健指導を実施します。
年 度 末 達 成 状 況	健康寿命の延伸を図るため「射水市第2次健康増進プラン」を策定しました。 受診勧奨や集団健診など、特定健診の受診率向上を図るとともに、必要な方に、タブレット端末等を活用し「見える化」による指導を実施しました。
自 己 評 価	「射水市第2次健康増進プラン」に掲げる8つの行動目標「Let's トライ！IMIZUSHI 健康 ^{エイト} 」を普及し、自主的な健康づくりを推進するなど、引き続き、生活習慣病の発症及び重症化予防に重点的に取り組みます。

事 業 名	高齢者の在宅医療・介護の連携強化
目 標	高齢者が、医療や介護が必要となっても自分らしい暮らしができるよう、「終活支援ノート」を活用した出前講座を開催するほか、在宅療養の高齢者を支援する専門職がリアルタイムで情報を共有し、連携を強化するための支援システム（ＩＣＴツール）を導入します。
年 度 末 達 成 状 況	「終活支援ノート」を活用した出前講座を開催し、住民意識の向上を図りました。 また、在宅で医療、介護を受けている高齢者が安心した生活を送ることができるように、ＩＣＴツールを用いた多職種連携支援システムを

	導入し、多職種によるタイムリーな情報共有を図りました。
自己評価	今後も多職種連携支援システム(ＩＣＴツール)を活用し、在宅医療・介護の連携強化を図っていきます。

令和元年度 産業経済部長「政策宣言」達成状況

産業経済部長 片 岡 幹 夫

○ 令和元年度重要事業

事 業 名	プレミアム付き商品券事業の推進
目 標	消費税・地方消費税率の引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的にプレミアム付き商品券を販売します。 なお、実施に当たっては、商工団体等と連携しながら効果・効率的な事業推進に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	低所得者の方々については、対象者の約49%から購入引換券の申請がありました。また、商工団体や民間事業者と連携し、事業が効率的に実施できました。
自 己 評 価	全国的に低所得者の方々の申請が低調な中、積極的な広報、周知活動に加え、個別の申請勧奨等を行いました。今後とも商工団体等と連携しながら、地域の経済対策に取り組みます。

事 業 名	世界で最も美しい湾クラブ富山県総会の開催
目 標	富山湾が加盟している世界で最も美しい湾クラブの総会（加盟湾43湾（25カ国1地域））が富山県内で開催され、その会場のひとつとして海王丸パークにおいて、県民参加型のイベントが開催されます。県や関係団体等と連携し、本市の食や曳山などの日本文化を紹介しながら、富山湾、そして、本市の射水ベイエリアの魅力を世界に向け発信します。
年 度 末 達 成 状 況	天候不良のため一部県民参加型のイベントの変更があったものの、県や関係団体等と連携し、参加者には、本市の魅力的な食や日本文化に触れていただきました。
自 己 評 価	参加者には、本市での体験を通して、富山湾の素晴らしさや本市の魅力を感じて頂けたものと思っております。引き続き、本市の地域資源の魅力を発信していきます。

事 業 名	防災重点ため池の整備促進
目 標	本市には大小59箇所のため池があり、その規模等から13箇所を防災重点ため池とし、昨年度、耐震診断等の調査を実施したところであり、近年の豪雨等により、ため池の決壊による農地等の被災や下流部の住民の安全性の確保、災害の未然防止の観点からも整備、改修事業に取り組みます。
年 度 末 達 成 状 況	2か所の重点ため池及びその周辺のため池を含め整備、改修するための実施設計が完了し、地域住民及び県等と連携し整備、改修に着手する予定です。
自 己 評 価	新たに防災重点ため池として指定された26箇所のため池についてもハザードマップの作成や、耐震診断等の調査を実施し、順次整備、

改修に取り組みます。

令和元年度 都市整備部長「政策宣言」達成状況

都市整備部長 津 田 泰 宏

○ 令和元年度重要事業

事 業 名	快適な生活環境整備
目 標	新たな交流やにぎわいを育む魅力あるまちを形成するため、越中大門駅前広場整備をはじめとする生活環境の改善を進めます。また、身近な憩いの場である公園施設の点検を引き続き行い、計画的な更新や補修により機能の充実を図ります。
年 度 末 達 成 状 況	新湊地区の「港町善光寺線」の歩道整備が完了したほか、「越中大門駅前広場」の整備に着手しました。また、「公園施設の定期点検」を行うとともに、公園施設長寿命化計画に基づき「大規模公園の遊具更新」を実施しました。
自 己 評 価	概ね目標は達成できたと考えておあり、引き続き、交流が盛んで魅力あふれるまちづくりを推進していきます。また、公園施設については、安全で快適に楽しむことができるよう、適切な維持管理に努めています。

事 業 名	木造住宅の耐震化促進
目 標	全国で相次ぐ地震による住宅被害が多く発生していることを踏まえ、市民の生命や財産を守るため、今年度から補助上限額を拡充した「木造住宅耐震改修支援事業」により、引き続き未耐震住宅を解消し、住宅の耐震化を促進します。
年 度 末 達 成 状 況	今年度は耐震診断4件、耐震改修等1件について補助を行いました。併せて住宅相談所による無料の住宅相談を毎月実施したほか、耐震が不十分と思われる住宅へ個別に訪問して耐震改修の重要性を周知するなど、木造住宅の耐震化促進に努めました。
自 己 評 価	木造住宅耐震診断・改修支援事業の一層の周知・啓発に努め、引き続き未耐震住宅の解消に取り組んでいきます。

事 業 名	道路施設の適正な維持管理
目 標	重要かつ貴重な社会資本ストックである道路施設の点検を引き続き行うとともに、より安全で快適な交通環境を確保するため、損傷や老朽化の著しい路線の補修工事を進めます。また、橋梁等の重要構造物については、長寿命化並びに耐震化工事を計画的に推進します。
年 度 末 達 成 状 況	道路・橋梁を定期的に点検し、大規模舗装補修を5路線、道路橋梁の長寿命化・耐震化を3橋実施しました。
自 己 評 価	概ね目標は達成できたと考えています。今後とも、安全・安心な道路交通の確保に向けて、道路施設の適切な維持管理に努めています。

令和元年度 上下水道部長「政策宣言」達成状況

上下水道部長 前川信彦

○ 令和元年度重要事業

事業名	水道施設整備事業
目標	西部幹線配水管整備や基幹管路の耐震化等を推進するとともに、主要配水池の耐震化に取り組み、災害時においても安全で安定的な水道供給ができるよう施設及びシステム全体の強じん化を図ります。
年度末達成状況	西部幹線配水管整備及び基幹管路の耐震化事業は、計画どおり順調に進んでおり、西部幹線配水管整備は令和2年度の完成予定です。また、今年度から着手した主要配水池の耐震化の内、上野第3調整池耐震化工事は計画どおり完了し、引き続き大規模補修工事に着手しています。
自己評価	計画どおり事業を進めることができました。引き続き、事故や災害に強く安定供給を実現できるシステム全体の強じん化を図ります。

事業名	雨水対策事業
目標	近年多発する局地的な豪雨による浸水被害の軽減を図るため、現在整備を進めている鷺塚地内や今年度新たに工事着手する片口、夢美野地内の雨水対策施設の早期整備に努めます。
年度末達成状況	本年2月に鷺塚地内の雨水幹線及び雨水貯留施設、昨年12月に夢美野地内の雨水函渠が供用開始しました。また、片口地内の雨水函渠整備は完成に向け着実に整備を進めています。
自己評価	計画どおり整備を進めることができました。引き続き、浸水被害の軽減を図るため、雨水対策施設の早期完成に努めます。

事業名	安定的な事業運営
目標	将来にわたる安定的な上下水道事業の継続を目指し、的確な現状課題と将来予測に沿った施設整備計画及び財政計画等を策定するとともに、それらを統括した今後10年の運営方針を示した「水道ビジョン」及び「下水道ビジョン」を作成し、公表します。また、本年10月からスタートする水道事業包括業務委託による業務の円滑な実施を図るとともに、更なるお客様サービスの向上に努めます。
年度末達成状況	「水道ビジョン」及び「下水道ビジョン」においては、2月に上下水道事業経営委員会、3月に議会での審議を行い、今後は市民を対象としたパブリック・コメントを経て、6月議会に最終案を提出予定です。水道事業包括業務委託では、毎月の実施状況を検証し、官民連携で更なる効率化とサービス向上に努めています。
自己評価	計画的に事業を進めることができており、今後は両ビジョンに示す将来の基盤強化に向けた具体的な施策などを市民の皆様に対し、理解と関心を深めていただけるよう、丁寧でわかりやすい情報開示に努めます。

令和元年度 市民病院事務局長「政策宣言」達成状況

市民病院事務局長 衛 栄理子

○ 令和元年度重要事業

事 業 名	地域医療の確保と健全な病院運営の推進
目 標	<p>市民の健康と命を守るため、救急医療、急性期医療に加え、リハビリなどの回復期医療から在宅医療まで、安全・安心な医療の提供に努めます。</p> <p>また、地域医療を担う病院として、引き続き経営の効率化を図りながら、健全な病院運営に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>救急患者の受け入れや、在宅等から地域包括ケア病棟への直接入院など安心・安全な地域医療の確保に努めました。</p> <p>また、病院の新たな特色として形成外科を開設しました。</p>
自 己 評 価	市民病院運営協議会でのご意見を受け、富山大学附属病院と連携し、新たな診療科を開設することができました。引き続き、急性期病棟と地域包括ケア病棟の効率的な運用により、持続可能な病院運営に努めます。

事 業 名	医療提供体制の充実
目 標	<p>地域の基幹病院として、病診連携により相互利用を行っている高度医療機器の更新など診療機能の維持向上を図ります。</p> <p>また、地域包括ケアシステムを中心とした医療提供体制へ移行している中、急性期から回復期まで、安心して気持ちよく医療が受けられるよう療養環境の整備に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>高度医療機器であるMRI更新において、マグネットを再利用するなどして費用を抑えつつ、最新の機能で導入しました。</p> <p>また、更新作業を年末年始に行うことにより、診療への影響を最小限に抑え、地域の基幹病院としての役割を果たしています。</p>
自 己 評 価	当初の予定どおり、高度医療機器を更新し、診療機能の向上を図ることができました。引き続き快適な療養環境の整備に向け、病棟外壁改修の準備を進めます。

事 業 名	地域連携と広報活動の強化
目 標	<p>開業医や他病院との連携をより一層進め、紹介患者の増加に努めます。</p> <p>また、ホームページやケーブルテレビ、広報いみずの活用など従来の広報活動に加え、病院広報誌や出前講座の構成を刷新するなど、より多くの市民の声を取り入れられるよう積極的な広報活動に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>市民公開講座や病院広報誌を見直し、よりわかりやすく親しみやすい内容に刷新しました。</p> <p>また、開業医向けのチラシを作成し、紹介患者の増加につながるよう努めました。</p>

自己評価	当初の目標どおり、広報活動の内容を見直し、実施することができます。今後も地域連携を進めながら、市民に親しまれる市民病院を目指します。
------	--

令和元年度 会計管理者「政策宣言」達成状況

会計管理者 園 木 邦 之

○ 令和元年度重要事業

事 業 名	公金の安全でより効率的な管理・運用
目 標	正確な収支見通の把握に努めるとともに、安全性の確保を最優先に、より効率的な公金の管理・運用を図ります。
年 度 末 達 成 状 況	市税、地方交付税等の収入状況、工事請負費等の支払見込み及び前年度の収支実績等を参考に正確な収支見通しの把握に努めました。 また、公金の管理・運用については、安全でかつ有利な定期預金等での運用のほか、基金の一部を活用し債券運用を行い、利子収入を確保しました。
自 己 評 価	預金利率や利回りの低迷等、経済状況が非常に厳しい中、公金の安全かつ有利な運用に努め、一定の利子確保を図ることができました。

事 業 名	公金取扱状況検査の実施
目 標	各課・出先機関等への公金取扱状況検査を実施し、適正な会計事務が行われるよう指導するとともに、公金の取扱いに対する職員の意識向上を図ります。
年 度 末 達 成 状 況	予定していた 14 か所（金融機関 2 か所を含む。）全ての現地調査を実施しました。
自 己 評 価	各課、出先機関において、公金取扱業務の適正な執行を確認しました。

事 業 名	適正な会計事務の執行
目 標	法令等に基づき、公金の支出命令審査を厳正かつ迅速に行い、適正で確実な支払事務の執行に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	会計事務担当職員に対し、適切な会計処理と事務の効率化を図るための指導を目的とした研修を実施しました。
自 己 評 価	研修会の実施等を通じて、引き続き適切な会計処理の周知、確実な支払事務の執行に努めます。

令和元年度 教育委員会事務局長「政策宣言」達成状況

教育委員会事務局長 松 長 勝 弘

○ 令和元年度重要事業

事 業 名	確かな学力の定着
目 標	<p>一人ひとりに応じた学習指導体制の充実を図るため、チームティーチング指導員及び学習センターを増員配置し、きめ細かな学習指導や生活指導を行い、学習意欲の向上に努めます。</p> <p>また、新学習指導要領の全面実施を目前に控え、引き続き、小学校にALT及び外国語活動指導員を配置するとともに、大学生の英語学習パートナーを派遣し、英語教育の推進を図ります。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>中学校にチームティーチング指導員9名、また、小中学校には学習センター41名を配置し、きめ細かな学習支援を行うことにより、児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着に努めました。</p> <p>また、来年度から小学校で教科化となる英語教育に備え、ALT4名、外国語活動指導員4名に加え、英語学習パートナー8名を小学校へ配置し、学級担任と連携した指導体制の充実を図るとともに、小学校教育研究会の外国語活動部会を中心に授業研究等を行い実践的指導力の向上に努めました。</p>
自 己 評 価	確かな学力の定着に向けて、きめ細やかな学習指導体制の構築に努めました。今後は、個々の児童生徒の学力差に対応した指導の推進を図りつつ、自尊感情を高めることによる学習意欲の喚起についても継続的に取り組みます。

事 業 名	教育環境の充実
目 標	<p>小学校に続き中学校において無線LANを整備し、あわせて児童生徒用のタブレットパソコン、大型モニターやプロジェクター等の整備を進め、教育のICT化を推進します。</p> <p>また、歌の森小学校及び小杉南中学校の大規模改造工事、大門中学校の長寿命化工事を引き続き実施します。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>全中学校の無線LAN整備を完了し、タブレットパソコンや大型モニター等のICT機器の整備については、11月末に全小中学校への配置を完了しました。また、導入に伴い支援体制を整えるため、ICT支援員4名を小中学校に派遣しました</p> <p>学校施設整備については、予定していた大規模改造及び長寿命化改良工事を発注し、歌の森小学校及び大門中学校の工事は次年度に繰り越すことになりましたが、工事は概ね順調に進んでいます。</p>
自 己 評 価	新学習指導要領の実施を見据え、計画に基づきICT教育環境の整備を進めることができました。加えて、新たに国が示した「GIGAスクール構想」に向けて、より良い高速大容量の通信環境の整備に補正予算で対応しました。学校施設の整備については、引き続き早期の事業完了に努めます。

事 業 名	生涯学習とスポーツの振興
目 標	<p>地域の特色に応じた生涯学習活動を支援するとともに、昨年度作成した「学び通帳」の普及を進め、講座や学級等への参加機会の拡充を図ります。</p> <p>また、スポーツ施設の整備として、老朽化した海竜スポーツランドの熱源機械を更新するとともに、フットボールセンターの整備に向け、基本計画及び基本設計の策定に着手します。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>生涯学習活動への更なる参加意欲の向上を目的として、希望する22地区のコミュニティセンターに「学び通帳」を配布し、講座や学級等への参加機会の拡充に努めました。</p> <p>スポーツ施設の整備については、海竜スポーツランドの熱源機械更新の設計を終え、工事に着手しました。また、フットボールセンターの基本構想・基本計画を策定し、これに基づき基本設計に取り組んでいます。</p>
自 己 評 価	<p>多くの方々に地域の学習活動を知ってもらい、参加してもらう取組が重要であり、「学び通帳」の普及が学習活動への参加の動機付けになったものと考えています。</p> <p>スポーツ施設の整備については、海竜スポーツランド熱源機械の更新工事に着手し、来年度中の完成を予定しています。また、フットボールセンターについては関係機関や団体と協議しながら、事業の進捗に努めます。</p>

令和元年度 消防長「政策宣言」達成状況

消防長 五十嵐 晃

○ 令和元年度重要事業

事 業 名	防火対策の推進
目 標	<p>昨年は、事業所からの火災が多発したことから予防査察や立ち入り検査を強化するとともに消防訓練を行うことで火災予防に努めます。</p> <p>また、住宅用火災警報器の設置義務化から10年を経過していることから電池切れに関する啓発を継続的に行い、消防関係団体と連携して未設置世帯への設置促進に努めます。</p>
年 度 未 達 成 状 況	射水市の令和元年度の火災件数は、昨年に比べ若干減少し、住宅用火災警報器の設置率も84.9%で昨年より3.9%上昇しました。
自 己 評 価	一般住宅からの火災は減少しましたが、昨年に引き続き事業所からの火災が多発していることから施設の維持管理について指導し、一般住宅の住宅用火災警報器設置促進に加えて正しい設置指導を行います。

事 業 名	救急救命体制の充実
目 標	<p>救急業務の更なる充実のため、高度救命処置用資機材の計画的な整備を行い、救急医療体制の充実を図ります。</p> <p>加えて、救急救命士再教育計画に基づき、隊員の教育訓練の充実を図るとともに、消防本部全体でのシミュレーション演習を行い、技術及び知識の向上に努めます。</p> <p>また、ドクターヘリランデブーポイントの消防本部グラウンドを舗装化して迅速な引き渡しを行うなど搬送医療機関との一層の連携による救急搬送体制の強化を図り、円滑な受け入れ態勢の構築に努めます。</p>
年 度 未 達 成 状 況	救命士を1名採用し、現職員1名の救命士養成を行いました。
自 己 評 価	<p>また、若年救命士を中心に基礎実技に重点を置いたシミュレーション訓練を行うとともに、病院と救急勉強会を開催し、知識と技能の向上を図りました。</p> <p>計画的に救命士の採用と養成及び感染防止マニュアル等の整備を行い、消防職員全体に安全・確実な救急救命活動を行うよう意識付けを行うことが出来ました。</p> <p>また、救命講習時等に救急車の適正利用を呼び掛けることにより、救急件数の減少に努めました。</p>

事 業 名	災害対応力の強化
-------	----------

目 標	<p>消防団、自主防災組織と連携しながら大規模災害発生時に迅速かつ的確な対応が取れるよう消防体制の充実強化に向け、実践的な訓練や研修を行い、職員の育成にも取り組みます。</p> <p>また、消防団員の確保については、入団促進用ポスターを作成し、若年層の加入を促進するとともに消防団活動の環境向上にも努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>本江分団屯所の大規模改修工事と作道分団屯所の新築工事実施設計を行い、常備消防と大門、下分団の消防ポンプ自動車の更新を行いました。また、消防本部グラウンドの全面アスファルト施工を行いました。</p>
自 己 評 價	<p>屯所改修等と車両更新を実施し、加えて念願であったグラウンドの改修を行うことができました。今後も消防団、自主防災組織と連携し、災害対応力の強化に努めます。</p>